2 岐阜県工業用水道事業の業務の状況

可茂地域は、東海環状自動車道東回りの整備開通に伴い、交通の利便性が格段に向上し、安定した地盤など立地に恵まれた環境であることから企業進出が進んでいます。

岐阜県工業用水道事業は、美濃加茂市・坂祝町の企業へ給水を行っており、今後も水需要を見極めなが ら、新規需要の開拓に引き続き最善の努力をする方針です。

令和元年度(上半期)の状況

1 概 況

区 分	今 期	前年同期	比較増減	対前年比率
契約企業数	11 社	11 社	0 社	100.0 %
契 約 水 量	4,080 m³/日	3,528㎡/日	552 m³/日	115.6 %

2 経理の状況

本年度9月末までの経理状況は次のとおりで、前年同期と比べ、収益は2.9%の増加、費用は0.2%の増加となっています。収益の増加については、契約水量の増加によるものです。

経理の状況

区	分	今 期	前年同期	比較増減	対前年比率
		円	円	円	%
収	益	39, 228, 372	38, 118, 464	1, 109, 908	102.9
費	用	8, 648, 612	8, 630, 315	18, 297	100. 2
差	引	30, 579, 760	29, 488, 149	1, 091, 611	103. 7

(減価償却費を除く。)

令和元年度岐阜県工業用水道事業残高試算表

(令和元年9月30日現在)

1, 694, 618, 897	固 定 資 産	
1, 469, 988, 575	有形固定資産	
224, 630, 322	無形固定資産	
112, 397, 459	流 動 資 産	
104, 903, 891	現金預金	
7, 087, 798	未 収 金	
405, 770	その他流動資産	
	固定負債	666, 687, 298
	企業債	188, 287, 979
	他会計借入金	475, 055, 977
	引 当 金	3, 343, 342
	流動負債	29, 308, 977
	企業債	21, 888, 817
	他会計借入金	3, 282, 376
	その他流動負債	3, 146, 784
	引 当 金	991,000
	繰 延 収 益	273, 544, 389
	長 期 前 受 金*1	426, 687, 639
153, 143, 250	長期前受金収益化累計額*2	
	資 本 金	692, 849, 178
	剰余金	114, 046, 754
	資本剰余金	76, 293, 396
	利益剰余金	37, 753, 358
	工業用水道事業収益	39, 228, 372
	営 業 収 益	39, 184, 002
	営業外収益	44, 370
8, 648, 612	工業用水道事業費用	
6, 004, 723	営 業 費 用	
2, 643, 889	営業 外費 用	
1, 815, 664, 968	合計	1, 815, 664, 968
	Ţ.	

(単位:円)

平成30年度岐阜県工業用水道事業決算について

平成30年度は、美濃加茂市内の企業10社及び坂祝町内の企業1社に対して給水を行いました。

1 給水量

年間給水量は、3.5%の増加となりました。

給 水 実 績

区	分	平成30年度	平成29年度	比較増減	対前年比率
		m³	m³	m³	%
可茂工業用	水道事業	1, 336, 056	1, 290, 297	45, 759	103. 5

2 収益的収入・支出

事業収益は、前年度並みとなりました。給水量の増加に反して営業収益が減少している理由は、超過水量が発生していた企業に対して契約水量の増量交渉を行った結果、安定的に得られる給水収益が増加した 一方で、単価の高い超過水量が減少したためです。

また、事業費用は、前年度に比べ2.5%の減少となりました。これは主に、人件費や支払利息の減少によるものです。

以上の結果、当年度純利益は19,694,254円となりました。

収益的収入·支出

区 分	平成30年度	平成29年度	比較増減	対前年比率
	円	円	円	%
工業用水道事業収益	85, 364, 445	85, 381, 677	△ 17, 232	100.0
営 業 収 益	75, 622, 605	75, 972, 651	△ 350, 046	99. 5
営 業 外 収 益	9, 548, 856	9, 409, 026	139, 830	101.5
特 別 収 益	192, 984	0	192, 984	_
工業用水道事業費用	65, 670, 191	67, 322, 573	△ 1,652,382	97. 5
営 業 費 用	59, 636, 819	60, 314, 465	△ 677, 646	98.9
営 業 外 費 用	6, 033, 372	7, 008, 108	△ 974, 736	86. 1
当年度純利益	19, 694, 254	18, 059, 104	1, 635, 150	109. 1

3 資本的収入・支出

資本的収入は、前年度と同額になりました。また、資本的支出は、前年度に比べ3.0%の減少となりました。これは、施設改良費、長期借入金償還金の減少によるものです。

資本的収入·支出

₽	区 分		平成30年度	平成29年度	比較増減	対前年比率	
				円	円	円	%
資	本 的	収	入	6,660,000	6,660,000	0	100.0
	出	₹ Į	金	6,660,000	6,660,000	0	100.0
資	本 的	支	出	63, 563, 521	65, 531, 785	△ 1,968,264	97. 0
	建設。	女 良	費	18, 026, 600	19, 165, 200	△ 1, 138, 600	94. 1
	企業債	償 還	金金	42, 527, 070	41, 552, 334	974, 736	102. 3
	長期借入	金償遗	景金	3, 009, 851	4, 814, 251	△ 1,804,400	62. 5
3	差 引		△ 56, 903, 521	△ 58,871,785	1, 968, 264	96. 7	

平成30年度岐阜県工業用水道事業損益計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで) (単位:円)

				(半成る)	7年4月1日から半成	(31年3月31日まで)	(1
1	営	業	収	益			
	給	水	収	益	75, 622, 605	75, 622, 605	
2	営	業	費	用			
	(1) 原	水 及	び浄	水 費*3	11, 513, 821		
	(2) 総		係	費*4	3, 222, 038		
	(3) 減	価	償	却 費*5	44, 678, 691		
	(4) 資	産	減	耗 費*6	222, 269	59, 636, 819	
	営	業	利	益			15, 985, 786
3	営	業	水 収	益			
	(1) 受	取利息	及び	配 当 金	100, 633		
	(2) 長	期前	受 金	戻 入	9, 441, 261		
	(3) 雑		収	益	6, 962	9, 548, 856	
4	営	業	小 費	用			
	(1) 支打	公利息及	び企業債	 取扱諸費	6, 033, 372	6, 033, 372	3, 515, 484
	経	常	利	益			19, 501, 270
5	特	別	利	益			
	(1) そ	の他		利 益	192, 984	192, 984	192, 984
	当	年 度	純	· 益			19, 694, 254
	前年	度繰越	利益乗	余金			0
	その他	1未処分利	益剰余金	変動額			18, 059, 104
	当年	度未処	分利益	剰余金			37, 753, 358

平成30年度岐阜県工業用水道事業貸借対照表

(単位:円)

(平成31年3月31日)

資 産 \mathcal{O} 部 1 固定資産 (1) 有形固定資産 1 土 地 284, 693, 224 口構 築 物 1,698,679,060 減価償却累計額 592, 320, 456 1, 106, 358, 604 ハ機械及び装置 46, 975, 193 減価償却累計額 28, 270, 420 18, 704, 773 ニ 工具、器具及び備品 45,000 減価償却累計額 26, 325 18,675 ホ 建 設 仮 勘 定*7 60, 213, 299 有形固定資産合計 1, 469, 988, 575 (2) 無形固定資産 イダム使用権 221, 759, 951 無形固定資産合計 221, 759, 951 固定資産合計 1, 691, 748, 526 2 流動資産 (1) 現 金 預 金 98, 354, 921 (2) 未 収 金 7, 177, 311 流動資産合計 105, 532, 232 資 産 合 計 1, 797, 280, 758 負 債 \mathcal{O} 部 3 固定負債 (1) 企 業債 イ 建設改良費等の財源に 188, 287, 979 充てるための企業債 企業債合計 188, 287, 979 (2) 他会計借入金 イ 建設改良費等の財源に 475, 055, 977 充てるための長期借入金 他会計借入金合計 475, 055, 977 (3) 引 当 金*8 イ 退職給付引当金 1,683,344 ロ その他引当金 1,659,998 引当金合計 3, 343, 342 固定負債合計 666, 687, 298 4 流動負債 (1) 企 業 イ 建設改良費等の財源に 43, 525, 149

43, 525, 149

充てるための企業債 企業債合計

 (2) 他会計借入金 イ 建設改良費等の財源に 充てるための長期借入金 他会計借入金合計 (3) 未 払 金 (4) 引 当 金 イ 賞与引当金 	3, 282, 376 3, 282, 376 3, 325, 959 451, 945	
ローその他引当金	991,000	
引 当 金 合 計 (5) その他流動負債	1, 442, 945 11, 710	
流動負債合計 5 繰延収益 長期前受金 収益化累計額 繰延収益合計	426, 687, 639 $\triangle 153, 143, 250$	273, 544, 389
負債合計	資本の部	991, 819, 826
6 資 本 金 7 剰 余 金 (1)資本剰余金		691, 414, 178
イ その他資本剰余金 資本剰余金合計 (2) 利 益 剰 余 金	<u>76, 293, 396</u> 76, 293, 396	
イ 当年度未処分利益剰余金 利益剰余金合計 剰 余 金 合 計 資 本 合 計 負債資本合計	37, 753, 358 37, 753, 358	114, 046, 754 805, 460, 932 1, 797, 280, 758

*1 長期前受金、長期前受金戻入

減価償却を行う固定資産の取得又は改良に充てるため補助金等の交付を受けた場合において、 その交付を受けた金額に相当する額を長期前受金として計上します。

また、長期前受金として計上した額のうち、当年度の減価償却見合い分を長期前受金戻入として計上します。

* 2 長期前受金収益化累計額

長期前受金戻入をした額の合計です。

*3 原水及び浄水費

主に工業用水を作ったり、施設を維持するための費用です。

* 4 総係費

主に事業の経営管理などを行うための費用です。

* 5 減価償却費

建物や機器等の固定資産は、使用や時間の経過によってその経済的価値が減少していきます。この 減少額を毎事業年度の費用として配分することを減価償却といいます。

*6 資産減耗費

固定資産が使用によって滅失し、また機能的に使用に耐えなくなったときは、この固定資産を廃棄 します。この場合、固定資産の減価償却費として費用化されていない額を資産減耗費として計上しま す。

*7 建設仮勘定

巨額の資産の建設等については、完成までその建設期間中の資産について、一時的に使用する勘定 科目(建設仮勘定)で整理します。

*8 引当金

将来発生する費用に備えるために計上する科目です。

工業用水道事業会計には退職給付引当金と賞与引当金、その他引当金の三つがあります。

/s.